

Joining Technologies and Materials Science -Expand collaboration network in Middle East-

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門 特任准教授

2015年12月7日(月)、カタール・ドーハにてカタール大学工学部と共催で Joining Technologies and Materials Science -Expand collaboration network in Middle East-と題した国際シンポジウムを開催しました。カタール大学と当研究所は2014年度よりカップリング・インターンシップ(CIS)を共同実施するなどの交流を行ってきました。また、本年には本学とカタール大学との間で大学間協定が締結され、更なる交流が期待される中での本シンポジウム開催となりました。

本シンポジウムは在カタール日本大使館と千代田アルマナ社の協力を受けて実現しました。シンポジウムでは在カタール特命全権大使津田 慎吾大使及びカタール大学工学部副学部長 Prof. Abdul Majid Hammada から両国、両大学の更なる交流に対する期待の辞が述べられ、それに続き千代田アルマナ井川 玄社長、カタール財団 Dr. Larry R. Pederson 他、イスタンブール工科大学(トルコ)、キングサウド大学(サウジアラビア)、Texas A&M大学カタール校(カタール)、カタール大学、当研究所からの講演が行われました。当研究所からは近藤 勝義教授、片山 聖二教授、西川 宏准教授が参加し、本学の紹介や研究講演を行いました。当日は大学関係者、企業関係者を含む40名強の参加

がありました。人材育成に力を入れる中東地域では、海外の大学との研究協力や人材交流への働きかけが近年益々増加しており、今後も重要な交流拠点として更なる活動が望まれます。今回のシンポジウムにより、中東地域におけるネットワークの強化が図られ、更に具体的な国際共同研究への発展が期待されます。

